

人を育てる言葉

本日は運動会でした。我が家にとっては初めての中学校の運動会でした。小学校の運動会は学校にとってはもちろん家庭にとっても一大イベントというイメージがありましたが、中学はどうなんだろう？と申し訳ないのですがあまり期待はしていませんでした。

ですが、一言で言うと感動しました。競技はもちろん、ラジオ体操も応援合戦も係の仕事も、皆が手を抜いたりだらけている様子が見当たりませんでした。よい意味で先生方が目立たず生徒が主体になっていることが良く分かり、日頃の先生方のご指導の賜物と感じました。

思い返してみると、自分はこんなに一生懸命に何かに全力を出したり、腹の底から声を出したりしたことが有っただろうか、無かったように思います。この子達なら自分の未来に向かって努力し続けていけるだろうなど、我が子たちを誇らしく思いました。

運動会終了後に先輩方に書いてもらったメッセージを、嬉しそうに見ている我が子を見ていたら、私もとても暖かい気持ちになりました。あなたもいつかカッコいい先輩になってねと心の中でエールを送りました。

生徒たちはもちろんですが、先生方も大変だったと思います、本当にお疲れ様でした。

感動と感謝をお伝えしたく、私的な感想を長々と失礼いたしました。これからもご指導よろしく願いいたします。

保護者の方から上記のようなメールを頂きました。送信日は20日（金）21時50分。運動会終了後、ご家庭において、中学校での初めての大きな行事を体験した子どもの話を聞き、様子を見守る親御さんのあたたかな姿勢が目につくと共に、子ども達の頑張りや教職員の我慢強い下支えをご理解頂いている事に、朝から目頭が熱くなりました。早速、この文面を職員朝会で全教職員と共有しました。

今回頂いたメールは、運動会に関わった全ての生徒・教職員を励まし、育てる貴重なお言葉として、これからも大切にしたいと思っています。

藤川俊彦（令和4年5月24日更新）